



基本方針 Basic Policy

- ① 大学病院として、医学医療の進歩に関与し、社会に貢献します。
- ② 教育病院として、人に愛され、信頼され、尊敬される医療人を育成します。
- ③ 奈良県における基幹病院として地域医療に貢献します。
- ④ 働きがいのある病院として、チーム医療と環境整備に努力します。



K-STRENGTH

by KINDAI UNIVERSITY NARA HOSPITAL



We are
One Team!



- **病 院 名** 近畿大学奈良病院 (Kindai University Nara Hospital)
- **開 院 年 月 日** 1999年(平成11年)10月1日
- **許 可 病 床 数** 518床
- **所 在 地** 〒630-0293 奈良県生駒市乙田町1248-1 TEL:0743-77-0880
<https://www.med.kindai.ac.jp/nara/>
- **開 設 者** 学校法人近畿大学 理事長 世耕 弘成
- **管 理 者** 近畿大学奈良病院 病院長 村木 正人
- **診 療 科** 循環器内科、消化器内科、内分泌・代謝・糖尿病内科、血液内科、
リウマチ・膠原病内科、腎臓内科、呼吸器・アレルギー内科、腫瘍内科、脳神経内科、
消化器外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科、脳神経外科、産婦人科、小児科、眼科、
皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、形成外科・美容外科、メンタルヘルス科、
歯科口腔外科、整形外科、放射線科(腫瘍部門・診断部門)、
麻酔科、病理診断科、救命救急科、緩和ケア科、小児外科、心臓血管外科
- **病 棟** 一般病棟(3C・3D・4A・4B・4C・4D・5A・5B)
救命救急病棟(CCMC)、集中治療室(ICU)
- **セ ン タ ー** 救命救急センター、腹部救急センター、おなかのヘルニアセンター、
がんセンター、がん相談支援センター、通院治療センター、緩和ケアセンター、
脊椎センター、人工関節センター、心臓血管センター、患者支援センター
- **中 央 部 門** 手術部、内視鏡部、人工透析室、医療安全管理部、感染制御部、看護部、薬剤部、
臨床検査部、放射線部、臨床工学部、栄養部、リハビリテーション部、経営管理部
- **拠点病院・指定病院** 地域がん診療連携拠点病院(平成16年3月認可)
災害拠点病院(平成20年2月認可)
地域医療支援病院(令和4年4月認可)
三次救急告示病院
がんゲノム医療連携病院
- **受 付 時 間** 平日8:30~11:30
休診日:土曜・日曜・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)・大学創立記念日(11月5日)
- **系 列 病 院** 近畿大学病院(〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2)

施設基準届出事項一覧



近畿大学奈良病院
KINDAI UNIVERSITY NARA HOSPITAL

① 基本診療料に関する事項

地域歯科診療支援病院歯科初診料、歯科外来診療環境体制加算2、医療情報・システム基盤整備体制充実加算、一般病棟入院基本料(急性期一般入院料1)、臨床研修病院入院診療加算(基幹型)、がん拠点病院加算、地域医療支援病院入院診療加算、総合入院体制加算3、救急医療管理加算、妊産婦緊急搬送入院加算、超急性期脳卒中加算、診療録管理体制加算1、20対1医師事務作業補助体制加算1、50対1急性期看護補助体制加算、看護補助体制充実加算、看護職員夜間12対1配置加算1、療養環境加算、重症者等療養環境特別加算、無菌治療室管理加算2、緩和ケア診療加算、栄養サポートチーム加算、医療安全対策加算1、医療安全対策地域連携加算1、感染対策向上加算1(注2:指導強化加算)、褥瘡ハイリスク患者ケア加算、ハイリスク褥瘡管理加算、データ提出加算2、入院支援加算1、入院時支援加算、認知症ケア加算【加算2】、せん妄ハイリスク患者ケア加算、排尿自立支援加算、地域医療体制確保加算、救命救急入院料3(注9:早期栄養介入管理加算)、救急体制充実加算3、特定集中治療室管理料4(注5:早期栄養介入管理加算)、小児入院医療管理料4、看護職員処遇改善評価料、病棟薬剤業務実施加算1

② 特掲診療料に関する事項

外来食事栄養指導料(注2、注3に規定する基準)、心臓ペースメーカー指導管理料(注5:遠隔モニタリング加算)、糖尿病合併症管理料、がん性疼痛緩和指導管理料、がん患者指導管理料Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、外来緩和ケア管理料、移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)、婦人科特定疾患指導管理料、腎代替療法指導管理料、外来放射線照射診療料、外来腫瘍化学療法診療料1、連携充実加算、ニコチン依存症管理料、療養・就労両立支援指導料(相談支援加算)、がん治療連携計画策定料(胃癌・大腸癌・肺癌・肝癌・乳癌)、がん治療連携管理料1、外来排尿自立指導料、肝炎インターフェロン治療計画料、薬剤管理指導料、医療機器安全管理料1、医療機器安全管理料2、歯科治療時医療管理料、在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料(遠隔モニタリング加算)、在宅腫瘍治療電場療法指導管理料、在宅経肛門の自己洗腸指導管理料、遺伝学的検査、BRCA1/2遺伝子検査、がんゲノムプロファイリング検査、がんゲノムプロファイリング評価提供料、先天性代謝異常症検査、造血器腫瘍遺伝子検査、デングウイルス抗原定性及びデングウイルス抗原・抗体同時測定定性、HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)、ウイルス・細菌核酸多項目同時検出、細菌核酸・薬剤耐性遺伝子同時検出、検体検査管理加算(Ⅰ)、検体検査管理加算(Ⅱ)、遺伝カウンセリング加算、遺伝性腫瘍カウンセリング加算、植込型心電図検査、時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト、胎児心エコー法、有床義歯咀嚼機能検査Ⅰの口及び咀嚼能力検査、長期継続頭蓋内脳波検査、黄斑局所網膜電図、小児食物アレルギー一負荷検査、精密触覚機能検査、画像診断管理加算1、画像診断管理加算2、CT撮影及びMRI撮影、冠動脈CT撮影加算、外傷全身CT加算、心臓MRI撮影加算、乳房MRI撮影加算、大腸CT撮影加算、小児鎮静下MRI撮影加算、抗悪性腫瘍剤処方管理加算、外来化学療法加算1、無菌製剤処理料、心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)、脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)、廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)、運動器リハビリテーション料(Ⅰ)、呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)、摂食機能療法(注3:摂食嚥下機能回復体制加算2)、がん患者リハビリテーション料(Ⅰ)、口腔口腔リハビリテーション料2、多血小板血漿処置、エタノールの局所注入(甲狀腺に対するもの)、人工腎臓(透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、導入期加算2及び腎代替療法実績加算)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、口腔粘膜処置、CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー、歯科技工加算1及び2、組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房【再建手術】の場合に限る)、椎間板内酵素注入療法、脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術、角結膜悪性腫瘍切除手術、角膜移植術(内皮移植加算)、羊膜移植術、緑内障手術(濾過腔再建術(needle法))、上顎骨形成術(骨移動を伴うものに限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴うものに限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、センチネルリンパ節生検(併用法・単独法)、乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1及び乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)、乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術【腋窩郭清を伴わないもの】及び乳輪温存乳房切除術【腋窩郭清を伴うもの】)、ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)、胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)、食道縫合術(穿孔、損傷)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術、小腸瘻閉鎖術、結腸瘻閉鎖術、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術、尿管腸瘻閉鎖術、膀胱腸瘻閉鎖術及び膀胱瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)、経皮的冠動脈ステント留置術、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術、大動脈バルーンパンピング法(IABP法)、経皮的大動脈遮断術、ダメージコントロール手術、腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)、内視鏡的逆流防止粘膜切除術、腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)、腹腔鏡下肝切除術、生体部分肝移植術、体外衝撃波碎石破砕術、腹腔鏡下肝腫瘍摘出術及び腹腔鏡下肝体尾部腫瘍切除術、早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術、内視鏡的小腸ポリープ切除術、体外衝撃波腎・尿管結石破砕術、腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術、膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)、腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)、腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術、医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術、医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術、【(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)、(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮付属器腫瘍摘出術)】、周期術栄養管理実施加算、輸血管理料Ⅰ、輸血適正使用加算、貯血式自己血輸血管理体制加算、自己クリオプレシビート作製術(用手法)及び同種クリオプレシビート作製術、人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算、胃瘻造設時嚥下機能評価加算、広範囲顎骨支持型装置埋入手術、レーザー機器加算、麻酔管理料Ⅰ、麻酔管理料Ⅱ、放射線治療専任加算、外来放射線治療加算、高エネルギー放射線治療、1回線量増加加算、強度変調放射線治療(IMRT)、画像誘導放射線治療(IGRT)、定位放射線治療、保険医療機関間の連携による病理診断、病理診断管理加算1、悪性腫瘍病理組織標本加算、口腔病理診断管理加算1、クラウンブリッジ維持管理料

③ 食事療養費に関する事項

入院時食事療養費(Ⅰ)

※当院は、入院時食事療養費(Ⅰ)の届出を行っており、管理栄養士又は栄養士によって管理された食事を適時(夕食については午後6時以降)、適量で提供しています。

また、この他に各病棟の食堂において、食事をしていただくこともでき、昼食と夕食については、献立を選ぶこともできます。(選択についての特別の費用負担はありません。)

④ 保険外併用療養費に関する事項

初診時保険外併用療養費 11,000円、再診時保険外併用療養費 3,300円

⑤ 当院の医療機関別係数

当院の医療機関別係数は、基礎係数 1.0395＋機能評価係数Ⅰ 0.3451＋機能評価係数Ⅱ 0.1028＝1.4874です。

フロアマップ

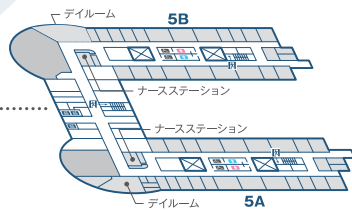
Floor Map



近畿大学奈良病院
KINDAI UNIVERSITY NARA HOSPITAL

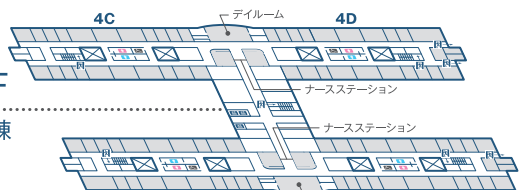
5F

病棟



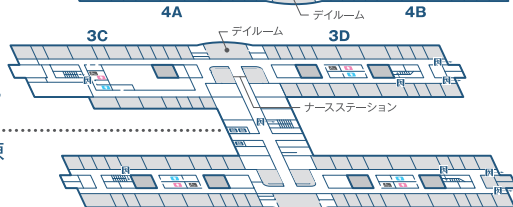
4F

病棟

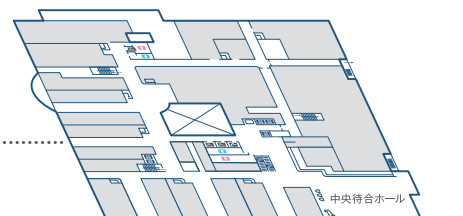


3F

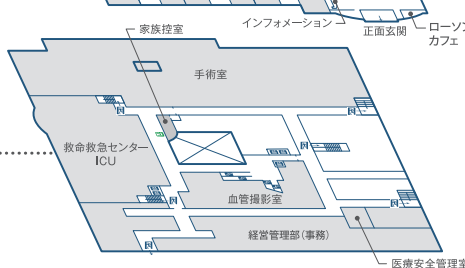
病棟



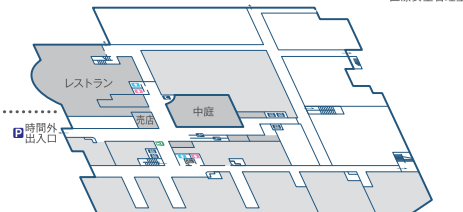
2F



1F



B1F



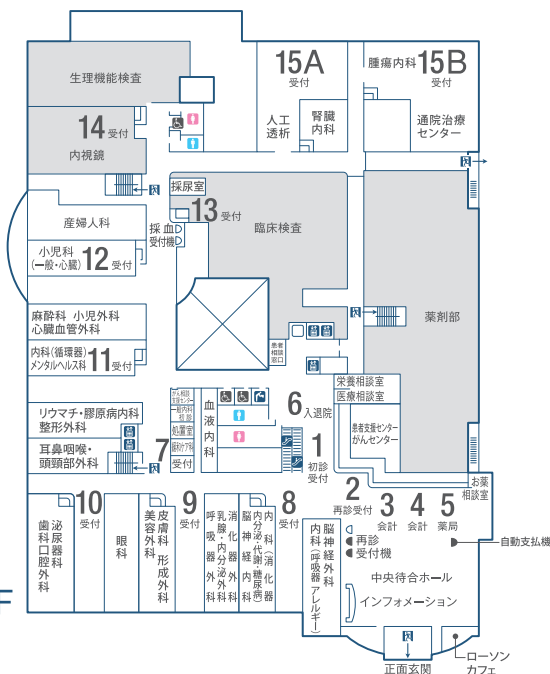
ナースステーション



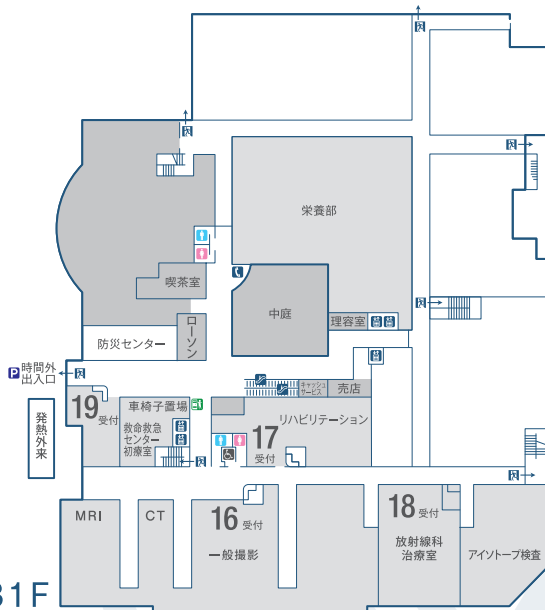
個室



2F



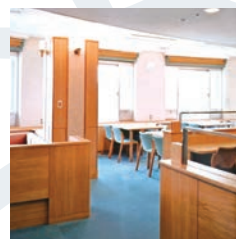
B1F

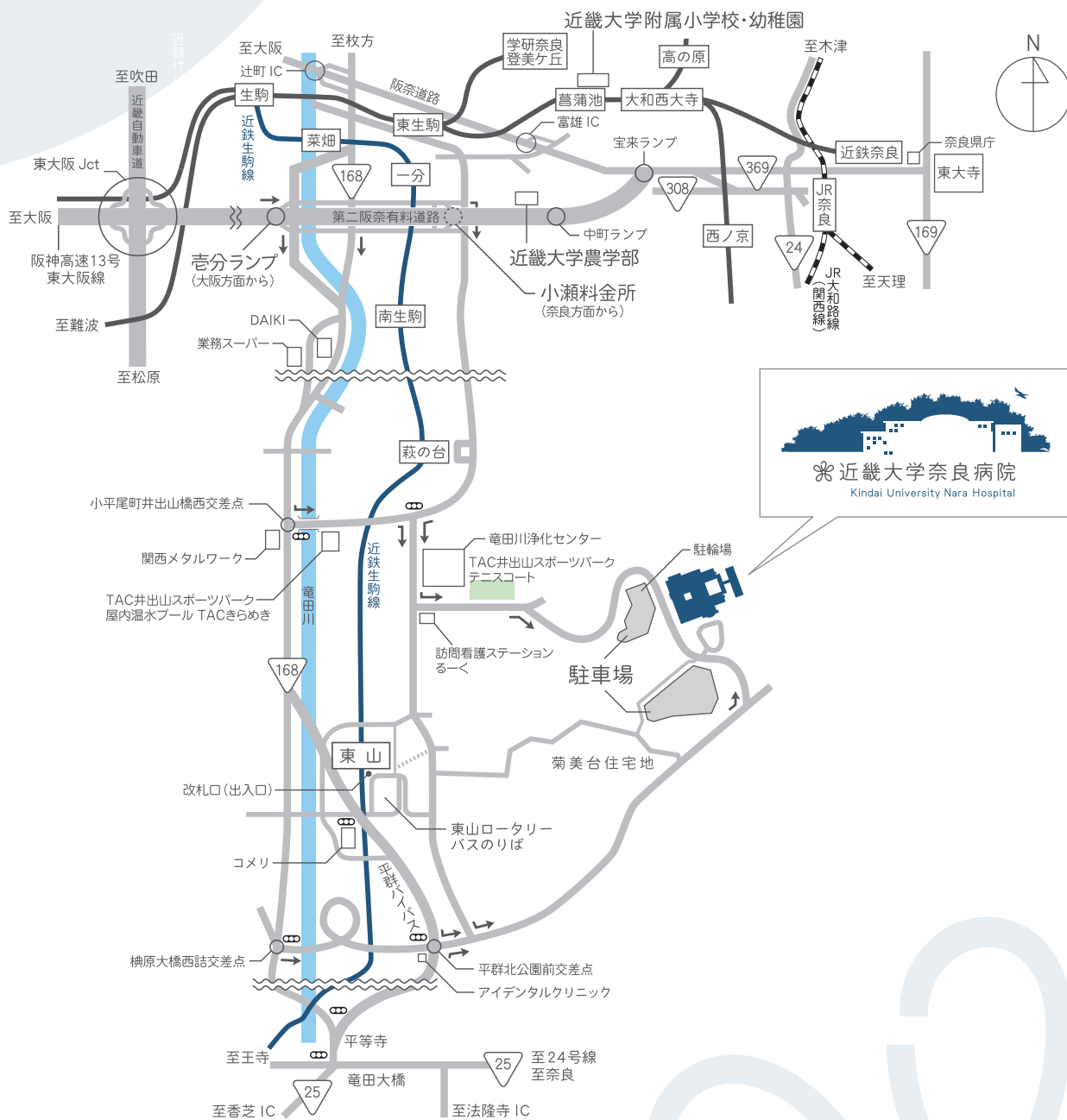


リハビリテーションルーム



病棟デイルーム





電車でのアクセス

近鉄奈良・大和西大寺	近鉄奈良線	生駒	近鉄生駒線	10分	徒歩 10分 バス 7分	近畿大学 奈良病院
布施						
学研奈良登美ヶ丘	近鉄 けいはんな線					
長田						
JR奈良	JR大和路線 (関西線)	王寺	近鉄生駒線	13分		
天王寺						

車でのご案内

- 奈良市内方面から
第二阪奈有料道路「小瀬料金所」から約10分
- 大阪市・東大阪市内方面から
第二阪奈有料道路「沓分料金所」から約10分

バスのご案内

近鉄東山駅と近畿大学奈良病院を往復しています。バスの時刻表は、2Fロビーのインフォメーションコーナーに置いてあります。



◆ 病院長 Hospital Superintendent

当院は、矢田丘陵の中腹に位置し、眼下には竜田川、目の前には生駒山がみえる環境的にも素晴らしい立地条件下に1999年10月に開院しました。その後、20年以上皆様に愛され、地域の基幹病院として、また大学病院としての責務を全うしてきました。

当院は、三次救急の指定を受けている病院で、西和医療圏の中で唯一救命救急センターが設けられており、24時間体制で救急患者の受け入れをおこなっています。2004年3月には、災害に備えて運営体制・施設を整備している地域災害拠点病院に認可され、2008年2月には、質の高いがん医療を提供することができる地域がん診療連携拠点病院にも指定されています。「がん相談支援センター」ではがん患者さまが安心して医療を受けるためのがん治療・療養などに関する相談に応じてい

ます。また、2022年4月には奈良県から地域医療の中核病院としての役割を担う地域医療支援病院に承認されました。

医療行為に関しては、各専門分野での優れた医療スタッフが先進の技術と設備で患者さまに対応します。一方で、生駒山を臨みながら自然豊かな木々を背景に心安らぐ入院生活を送ることができます。

当院は透明性の高い医療と情報を提供し、また、取り囲む環境変化にも対応しながら、患者さまへの高度な医療を提供出来るよう努めてまいります。今後の更なる展望として、先進医療のみならず、人としても愛される医療スタッフの教育、救急応需のいっそうの改善を目指しながら、職員全員が心と体を合わせて当院の理念である「患者本位の開かれた病院として、安全で質の高い先進医療」を提供していきます。

病院長 村木 正人

◆ 副病院長 Assistant Director



岡嶋 馨
Kaoru Okajima
医療安全／広報
研修医・専攻医担当



家根 旦有
Katsunari Yane
地域連携／外来担当



戸川 大輔
Daisuke Togawa
経営分析／病棟管理担当



木村 豊
Yutaka Kimura
外科部門／手術担当



花本 仁
Hitoshi Hanamoto
内科部門／緊急担当

We are One Team! **K-STRENGTH**

by KINDAI UNIVERSITY NARA HOSPITAL



プロフィール Profile

東儀 圭則 講師

● 経歴

- 1994年 京都大学医学部卒業
- 1995年 静岡県立総合病院
- 1999年 京都大学大学院医学研究科
- 2005年 京都大学大学院医学研究科循環病態学 産官学連携助手
- 2006年 J.David Gladstone Institutes, UCSF
- 2009年 国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院 内科医長
- 2012年 近畿大学奈良病院 循環器内科 講師

● 最終学歴

- 2004年 京都大学大学院医学研究科 医学博士

● 主な専門医・指導医

- 日本循環器学会循環器専門医、
- 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医

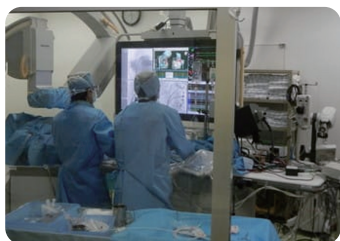
診療科の紹介 Introduction of clinical departments

心血管疾患・不整脈の先進医療を納得できる形で安心安全に

心血管疾患や致死性不整脈は生命予後に直結することも多く治療は急を要します。QOL (生活の質) を大きく下げる不整脈や閉塞性動脈硬化症の治療も循環器内科の重要な仕事です。これらの疾患に適切に対応できるスタッフをそろえて日々の診療にあたっております。

急性期の治療だけでなく、次を起こさないための治療(二次予防)も非常に重要です。

高度の先進治療とその後の丁寧な診療で西和地区中心に地域医療に貢献していきます。



カテーテル検査室での虚血性心疾患の血管内治療。



全身麻酔で心房細動カテーテルアブレーションを施行します。



心血管疾患の方に、医師の指示のもと安全に運動を行っています。

得意とする疾患 Specialty Disease

01 血管内治療

冠動脈や末梢血管の複雑病変に対する治療を得意としております。3次元を認識したワイヤー操作を行っております。他施設や海外より招聘され経験豊富です。ハイクオリティかつ低侵襲な治療を実現します。

02 不整脈

種々の不整脈に対してカテーテル治療が可能です。特に心房細動では麻酔科一任の全身麻酔を用います。安全第一の治療をモットーに、低い再発率で苦痛のない治療を目指します。

03 心疾患の二次予防

患者様の治療は高度な治療手技のみでは終わりません。心臓リハビリテーションは心血管疾患の二次予防、病気のために低下した生活の質や生命予後改善に有効です。



◆ プロフィール Profile

本庶 元 講師

● 経歴

城北病院、虎の門病院、大阪鉄道病院、大津赤十字病院、
近畿大学病院を経て2024年より近畿大学奈良病院

● 最終学歴

1995年 金沢大学 医学部卒

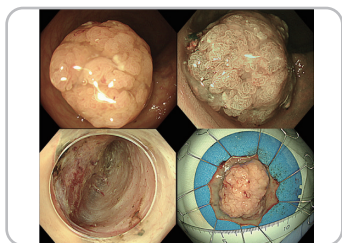
● 主な専門医・指導医

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・指導医、日本胆道学会認定指導医、日本肝臓学会肝臓専門医、日本超音波医学会超音波専門医・指導医、日本消化管学会胃腸科認定医

◆ 診療科の紹介 Introduction of clinical departments

消化管疾患、肝臓疾患、胆膵疾患の診断と治療

- ・早期胃がん・食道がんおよび早期大腸がんの内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を行っており、困難部位や瘢痕、治療後再発などの困難例にも対応可能です。
- ・膵がん・胆道がんや総胆管結石による閉塞性黄疸には内視鏡的ドレナージや結石除去術を行っています。
- ・肝がんに対しては、従来からのラジオ波焼灼術、肝動脈塞栓術に加えて、内服薬や点滴による全身化学療法の成績も向上してきています。
- ・消化管出血や閉塞性黄疸、胆管炎などの救急対応、緊急内視鏡にも対応しています。



早期大腸がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)



コヴィディエンジャパン社, Cool-tip™ RFAシステム Eシリーズ 肝腫瘍のラジオ波焼灼術に使用する装置



総胆管結石に対する内視鏡的結石除去術

◆ 得意とする疾患 Specialty Disease

01 消化管早期がん

食道、胃、大腸の早期がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術の経験が豊富です。困難部位や瘢痕合併や内視鏡的切除後の再発など困難例にも対応可能です。

02 肝細胞がん

従来の肝切除、ラジオ波治療、肝動脈塞栓術に加え、点滴や内服の抗がん剤治療を積極的に取り入れて、個々の患者様に最適な治療法を選択しています。

03 総胆管結石

治療が困難な巨大結石や積み上げ結石などに対しても積極的に内視鏡的結石除去術を行なっています。



プロフィール Profile

水野 成人 教授

●経歴

1986年 京都第二赤十字病院 消化器科
1994年 JR大阪鉄道病院 消化器内科 医長
2003年 近畿大学奈良病院 消化器内科 講師
2007年 神戸薬科大学 医療薬学研究室 教授
2015年 近畿大学奈良病院 内視鏡部 教授

●最終学歴

1986年 京都府立医科大学 医学部卒

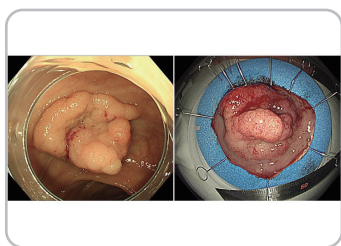
●主な専門医・指導医

日本内科学会 総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会 専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医、日本肝臓学会 専門医、日本胆道学会 指導医、日本膵臓学会 指導医

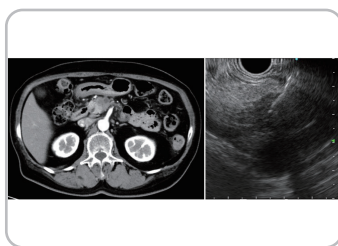
診療科の紹介 Introduction of clinical departments

消化器疾患の内視鏡的診断と治療

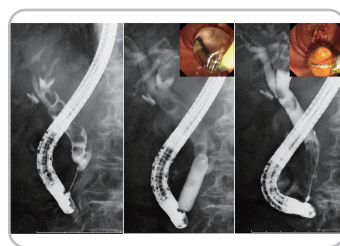
- 早期消化管がんに対する内視鏡的切除術（内視鏡的粘膜下層剥離術など）、消化管出血に対する内視鏡的止血術などを行っています。
- 膵・胆道がんの内視鏡的診断（内視鏡的胆膵管造影、超音波内視鏡、超音波内視鏡下穿刺生検）、内視鏡的ドレナージ術、総胆管結石の内視鏡的治療（内視鏡的乳頭切開術などによる結石除去術）に関して豊富な実績があります。



早期大腸がんを内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）で切除



膵頭部の径13mmの腫瘤に対しEUS-FNAを施行して組織診断



胆管内の積み上げ結石を乳頭ラージバルーン拡張術により摘出

得意とする疾患 Specialty Disease

01 消化管がん

早期消化管がんに対する内視鏡的切除術、特に内視鏡的粘膜下層剥離術を胃がん65例、食道がん16例、大腸がん33例に対して施行しています。（2021年実績）

02 膵がん・胆道がん

膵・胆道腫瘍性病変に対する超音波内視鏡検査および穿刺生検（EUS-FNA）、精密検査としての経口胆・膵管内視鏡検査、閉塞性黄疸に対する内視鏡的ドレナージ術を多数行っています。

03 総胆管結石

治療が困難な巨大結石、積み上げ結石、超高齢者も含め、総胆管結石の内視鏡的除去術（内視鏡的乳頭切開術、内視鏡的ラージバルーン乳頭拡張術、経口胆管内視鏡下電気水圧結石破砕術など）を積極的に行っています。



プロフィール Profile

岸谷 譲 講師

● 経歴

1987年 近畿大学医学部 卒業
1994年 近畿大学病院第二内科 講師
2001年 近畿大学医学部堺病院 内分泌・代謝科 科長
2005年 近畿大学奈良病院 消化器・内分泌内科 講師
2016年 近畿大学奈良病院 内分泌・代謝・糖尿病内科 講師

● 最終学歴

1993年 近畿大学大学院 医学研究科 卒業(医学博士)

● 主な専門医・指導医

日本糖尿病学会専門医、研修指導医、日本内分泌学会専門医、
研修指導医、日本甲状腺学会専門医

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

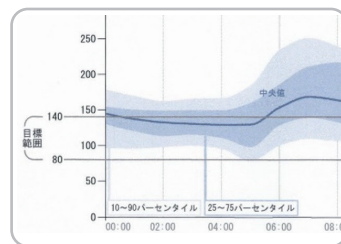
当科は毎月800-900人の外来患者様と30-40人の病棟患者様を診療しています。外来では1型・2型糖尿病や甲状腺・副腎・下垂体といった内分泌疾患、脂質異常・高尿酸血症等の代謝疾患と幅広く診療しています。入院では、ほぼ全科の周術期の血糖コントロール、がん化学療法や膠原病等で大量のステロイド治療が行われる際の血糖コントロール、最近では抗癌剤の免疫チェックポイント阻害剤の使用から甲状腺や副腎機能異常の合併が多くその加療も行っています。下図のような血糖測定機器も導入しています。(インスリン使用患者様のみ)



Abbott社のfree Style リブレ
指先の穿刺なくとも自己血糖
測定が可能



Readerにセンサーをかざすだけで測定可能



血糖を自動的に測定し続けているので1日の血糖グラフが描けます

得意とする疾患 Specialty Disease

01 糖尿病

糖尿病についてはこの10年間で非常に多くの内服薬・注射薬が開発され使用可能となり、週に1回の注射薬も開発されています。患者様の年齢やライフスタイルに合わせて治療し合併症の進展を阻止します。

02 内分泌疾患

人間は多数の臓器から様々なホルモンが分泌・調節されて正常な状態を保っています。ホルモンの過剰や不足で生じる疾患が多数あり、最近では抗がん剤使用からのホルモン異常もあり早急に原因を突き止め治療を行います。

03 代謝性疾患

コレステロールや中性脂肪・尿酸等の高値は症状が無いので放置すると痛風・脳梗塞・心筋梗塞を起こし麻痺や心不全で苦しむ事となります。食事療法はもちろんですが効果的な薬剤があるので早期に正常化を目指します。



プロフィール Profile

花本 仁 教授

● 経歴

1999年 近畿大学病院
2000年 大阪医療センター
2001年 近畿大学大学院 医学研究科内科学
2004年 近畿大学病院
2004年 近畿大学奈良病院

● 最終学歴

1999年 近畿大学大学院 医学研究科修了(医学博士)

● 主な専門医・指導医

日本静脈経腸栄養学会認定資格、産業医、日本血液学会専門医、
日本血液学会血液指導医、総合内科専門医、日本輸血・細胞
治療学会認定医、造血細胞移植認定医

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、造血幹細胞移植、貧血、血小板減少症など
幅の広い疾患を担当しております。

最新の医療を届けるために、新規薬剤をできるだけ早くに導入し、
患者様に良い医療を提供しています。

また、今の患者様だけでなく未来の患者様のことも考えて
他施設との共同研究にも積極的に参加しております。

最後に、患者様に寄り添った治療を後悔なく選択していただくことを心がけています。

得意とする疾患 Specialty Disease

01 白血病

最近の治療は、分子標的治療も行われ
ようになり再発例でも治療が可能に
なり、高齢者でも良い治療が可能にな
ってきます。当院では、若年から高齢者
すべての患者様層においても治療をし
ております。

02 悪性リンパ腫

B細胞性リンパ腫の治療も発展しており
ますが、特にT細胞性リンパ腫では、新
規薬剤が著しく登場し選択肢の幅が広
がっています。当院でもそれらの薬剤を
使用して医療を提供しております。

03 多発性骨髄腫

新規薬剤の登場により良い治療を提供
できるようになっています。当院では高
齢者でも、できる治療を患者様と相談
しながら薬剤選択をしております。患者
様の背景に沿った治療を提供しており
ます。



プロフィール Profile

杉山 昌史 准教授

● 経歴

2001年 近畿大学病院 血液腎臓膠原病内科
2007年 Monash Medical Centre Renal Lab
2008年 近畿大学病院 腎臓膠原病内科

● 最終学歴

2001年 近畿大学大学院 医学研究科 修了(医学博士)

● 主な専門医・指導医

日本内科学会総合内科専門医
日本リウマチ学会専門医、指導医
日本腎臓学会専門医、指導医

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

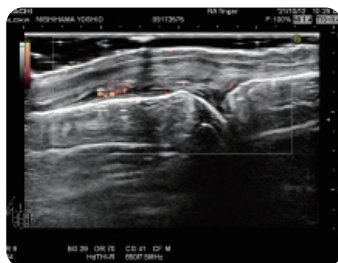
関節リウマチを含むリウマチ・膠原病疾患 膠原病に伴う腎障害

現在約500名のリウマチ膠原病疾患の患者様が通院しています。関節リウマチ患者様は約300名ですが、そのうち約半数が生物学的製剤、JAK阻害薬での治療を受けており、多くの症例で低疾患活動性、寛解を得ています。関節エコーを早期から導入し、リウマチの診療に役立てています。

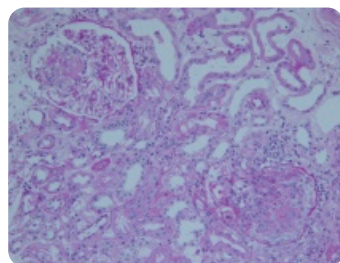
また、SLE、シェーグレン症候群、強皮症、血管炎症候群など膠原病疾患全般の診療が可能です。中でも腎合併症の診療経験が豊富です。



関節エコーです。30分ほどかけて丹念に評価します。



関節エコーでは、関節炎の活動性を評価することも可能です。



血管炎、ループス腎炎の患者様では腎生検も行っています。

得意とする疾患 Specialty Disease

01 関節リウマチ

すべてのスタッフが関節リウマチの診療に精通しています。

関節エコーを積極的に導入したり、新しい知見を取り入れた治療方針のアップデートを心がけています。

02 SLE

SLEは多臓器にまたがる複雑な疾患ですが、他科とも連携し、種々の病態に対して対応可能です。

当科では特にループス腎炎の診療を手がけています。

03 血管炎症候群

診断や治療が難しく難病に指定されている疾患ですが最近のEBMの進歩により安定した治療成績が得られるようになりました。

当科でも多くの患者様が通院しておられます。



プロフィール Profile

村木 正人 教授

● 経歴

1998-1999年 (米国)メイヨー・クリニック、免疫学
Research fellow

● 最終学歴

1987年 近畿大学 医学部卒

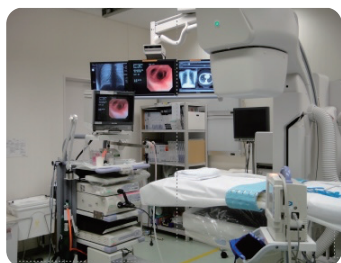
● 主な専門医・指導医

日本内科学会(総合内科専門医)、日本呼吸器学会(指導医・専門医)、日本アレルギー学会(指導医・専門医)、日本呼吸器内視鏡学会(指導医・専門医)、日本喘息学会 等

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

最新の呼吸器疾患とアレルギー疾患の診療を提供

- 年間800名以上の入院患者様の診療を行い、肺炎、肺がん、間質性肺炎、喘息などのアレルギー疾患、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、睡眠時無呼吸など幅広い呼吸器・アレルギー疾患の診療を行っています。
- 国内有数のアレルギー疾患診療を行っています。仮想内視鏡や超音波を利用した気管支鏡検査や、サーモプラスティ等をはじめとした気管支鏡治療を行います。原因不明の胸膜疾患には、胸腔鏡下胸膜生検で診断も行います。



内視鏡室
EBUS等を使用



仮想内視鏡(AZE、VINCENT)
腫瘍への走行を表示



呼吸機能検査室
拡散能、CV、FeNO等測定

得意とする疾患 Specialty Disease

01 気管支喘息

国内有数のアレルギー専門医教育研修施設です。重症喘息や難治性アレルギーなど多くの患者様の診療を行っています。サーモプラスティも行っています。

02 急性呼吸不全

入院早期からのリハビリテーションを取り入れながら、O₂、ネーザルハイフロー、非侵襲的人工呼吸(NPPV)、人工呼吸を活用し、呼吸不全の管理を行います。

03 間質性肺炎

主に気管支鏡での評価をします。病態に合わせて、ステロイド、免疫抑制薬、抗線維化薬などを用いて治療を行います。



プロフィール Profile

田村 孝雄 教授

●経歴

1996年 国立がん研究センター東病院 化学療法科
1997年 兵庫県立がんセンター 消化器内科

●最終学歴

1988年 神戸大学医学部卒

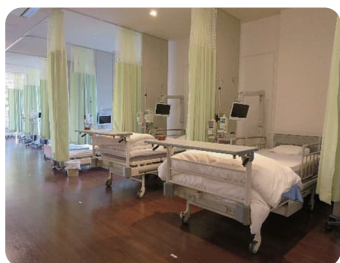
●主な専門医・指導医

日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医、日本内科学会・総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

がん薬物療法専門医による高度な集学的がん治療を提供しています

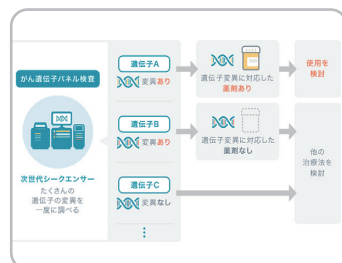
治療薬の進歩でがん治療は複雑になってきていますが当院では本邦ではまだ数が少ない日本臨床腫瘍学会のがん薬物療法専門医資格を持つ経験豊かな腫瘍内科医が治療を行います。がんゲノム医療連携病院に指定されている当院では、必要に応じて遺伝子検査を行い、遺伝子の変異に応じた治療薬を選択します。遺伝に関する専門的な説明を希望される場合は、遺伝専門医や遺伝カウンセラーによる遺伝カウンセリングを行います。



広々とした通院治療センターで快適に抗がん剤治療が受けられます。



リゾートホテルのような自然にあふれた立地にあり、診察室も開放的です。



遺伝子検査に基づき専門医が的確な治療を行います。

得意とする疾患 Specialty Disease

01 肺がん

がん遺伝子パネル検査等で詳しく遺伝子変異を調べることでそれぞれの患者様に適した治療を行い、長期生存を目指しています。

02 胃がん、大腸がん

多くの治験や臨床試験を経験し、免疫チェックポイント阻害剤をはじめとした新薬開発に関わってきたがん薬物療法専門医がガイドラインにそって丁寧に治療します。

03 膵がん、胆道がん

大学病院ならではの胆膵を専門とする外科医、消化器内科医が集まっていることにより、多科で協力して高度な集学的治療を行います。多くの症例が集まっています。



プロフィール Profile

塩山 実章 医学部講師

● 経歴

1997年 近畿大学病院 神経内科
1998年 国家公務員共済組合連合会 大手前病院
2007年 近畿大学病院 神経内科 医学部 講師
2011年 近畿大学奈良病院 脳神経内科 科長

● 最終学歴

2003年 近畿大学大学院 医学研究科 修了(医学博士)

● 主な専門医・指導医

日本内科学会認定内科医
日本神経学会専門医・指導医
日本頭痛学会専門医・指導医

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

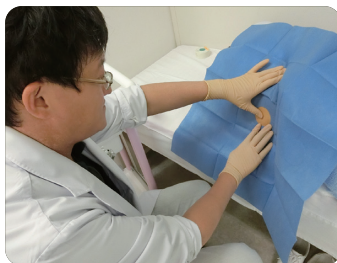
脳神経内科疾患の診断・治療

脳神経内科は脳・脊髄・末梢神経・筋肉の障害によって生じる病気を診る診療科です。精神的な異常や心理的な障害などを中心とする場合は、当科の適応ではありません。厚生労働省により難病に指定された疾患が多く含まれています。高齢化社会をむかえて、重要性の増している分野です。診療は、病歴をお聞きし、神経学的診察を行い、その上で、必要な検査を行ってまいります。これらの結果を総合し、診断・治療を行います。



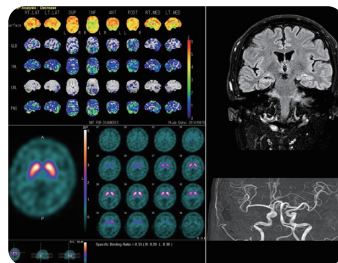
診察風景

病歴をお聞きし、神経学的な診察を行なっていきます。



髄液検査

腰から針を刺し、脳や脊髄内の炎症などを確認します。



画像

MRIやアイソトープ検査などで診断をしていきます。

得意とする疾患 Specialty Disease

01 パーキンソン病

神経難病の一つで、緩徐進行性の病気です。高齢化により今後患者数が増えると言われています。病歴や神経学的診察、画像所見などを参考に診断し、ドーパミンの内服療法を行なっていきます。

02 頭痛

頭痛に悩んでいるが、病院を受診されていない患者様はまだまだ多くいらっしゃいます。緊急性のある頭痛、日常生活に支障をきたす頭痛など様々です。新薬も登場し、頭痛診療の新しいステージが始まりました。

03 髄膜炎

脳の表面を覆う髄膜に炎症を起こす疾患です。発熱、強い頭痛、食欲低下などの症状を伴います。頭部MRI、髄液検査などを行い診断し、抗菌薬や抗ウイルス薬での治療が必要な神経救急疾患です。



◆ プロフィール Profile

木村 豊 教授

● 経歴

1998年 大阪大学大学院 医学研究科 修了(医学博士)
2015年 堺市立総合医療センター 外科 統括部長
2016年 近畿大学病院 外科 准教授

● 最終学歴

1990年 大阪大学 医学部卒

● 主な専門医・指導医

専門医・指導医(日本外科学会、消化器外科学会、消化器病学会、消化器内視鏡学会)、日本内視鏡外科学会技術認定医(消化器・一般外科)、日本食道学会食道科認定医 等

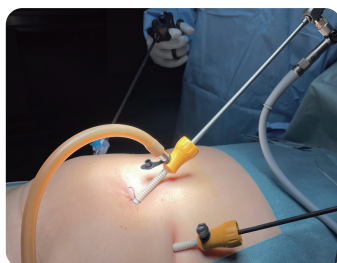
◆ 診療科の紹介 Introduction of clinical departments

消化器がんを「高度専門医療」「低侵襲手術」「チーム医療」で治療します

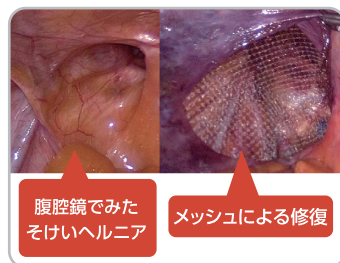
- 高度専門医療: 上部、下部、肝胆膵にそれぞれ専門医が在籍しています。安全に手術を行うとともに、進行がんには治療成績の向上のため集学的治療を行います。
- 低侵襲手術: 日本内視鏡外科学会技術認定医が2名おり、低侵襲手術で、根治性を保ちながら、QOLの維持、早期退院を目指しています。
- チーム医療: 高齢者や並存疾患のある患者様には、チーム医療で合併症を予防し、早期社会復帰できるようにサポートします。



病院HPに掲載している患者様のための胃がん、肝胆膵がんの解説



傷の小さな低侵襲手術(胸腔鏡・腹腔鏡手術)



腹腔鏡下ヘルニア修復術(TAPP法)で疼痛、再発が低減

◆ 得意とする疾患 Specialty Disease

01 食道・胃・大腸がん

食道がんの80%、胃がんの70%、大腸がんの90%に傷の小さな低侵襲手術(胸腔鏡、腹腔鏡手術)を行っています。一方、高度進行がんには術前化学療法を行って治療成績の向上につなげています。

02 肝臓・胆道・膵がん

日本肝胆膵外科学会高度技能専門医認定修練施設(B)に認定され、日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能指導医、専門医が在籍していますので、安全に手術を行うことができます。

03 ヘルニアと急性腹症

そけいヘルニアには、術後の疼痛や再発の少ない腹腔鏡下ヘルニア修復術を行います。急性胆嚢炎、ヘルニア嵌頓、腸閉塞、急性虫垂炎、穿孔性胃潰瘍など急性腹症にも迅速に対応します。



プロフィール Profile

新崎 亘 医学部講師

●経歴

2002年 近畿大学病院
2003年 近畿大学奈良病院
2009年 岡波総合病院
2011年 大阪府立呼吸器アレルギー医療センター
2013年 近畿大学病院
2022年 近畿大学奈良病院

●最終学歴

2009年 近畿大学大学院 医学研究科 修了(医学博士)

●主な専門医・指導医

日本外科学会専門医、日本乳癌学会乳腺専門医

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

- 乳がん診療においては、手術治療、放射線治療、薬物（抗がん剤やホルモン剤、分子標的剤）による治療を組み合わせ、個々の進行程度に応じた治療を行います。種々の診療科との連携はもとより、多職種と連携し、幅広い診療を行うよう努めています。
- 乳がんの組織検査は、超音波ガイド下針生検、吸引式組織生検等で行い、適切な手技のもとに質の高い診断が可能です。マンモグラフィで石灰化があり乳がんが疑われる場合には、ステレオガイド下吸引式組織生検を行います。（以下に示します。）



Mammotome®という機械を使用。



正確かつ迅速に組織を採取し、診断を行います。



組織採取後、生検部の目印としてマーカーを残すことがあります。

得意とする疾患 Specialty Disease

01 乳がん

正確な画像診断・病理診断に基づいた、適切な治療法選択・適切な術式選択を行います。形成外科とともに乳房再建手術も積極的に行っています。

02 乳がん以外の乳腺疾患

乳腺腫瘍（線維腺腫、葉状腫瘍）の摘出手術や、乳腺炎（乳輪下膿瘍、肉芽腫性乳腺炎など）に対する治療も行います。

03 遺伝性乳がん

遺伝性乳がんの検査が必要な患者様には遺伝カウンセリングとBRCA遺伝子検査が行えます。病的バリエーションが認められた場合の健常側のリスク低減乳房切除術も行っています。



◆ プロフィール Profile

塩野 裕之 教授

● 経歴

大阪府立病院、国立刀根山病院、大阪府立羽曳野病院を経て
1997年 Oxford大学 John Radcliffe病院
2005年 大阪大学 呼吸器外科 特任准教授
2009年 大阪警察病院 呼吸器外科 部長
2012年 近畿大学奈良病院 呼吸器外科 准教授

● 最終学歴

1987年 大阪大学 医学部卒

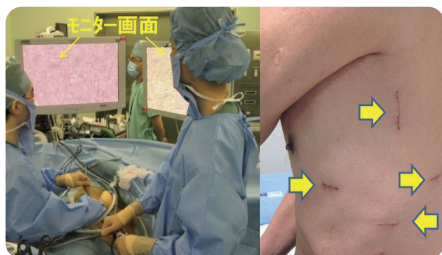
● 主な専門医・指導医

日本外科学会指導医・外科専門医、日本呼吸器外科学会指導医・呼吸器外科専門医、日本胸部外科学会認定医、肺がん CT 検診認定医、高度医療安全推進者、胸腔鏡安全技術認定医、胸腺腫瘍診療ガイドライン検討委員

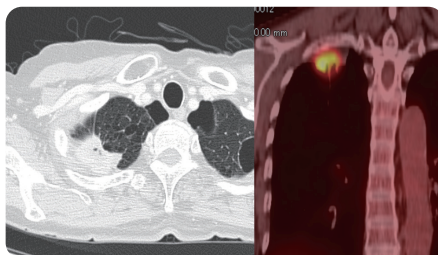
◆ 診療科の紹介 Introduction of clinical departments

肺、縦隔、胸膜疾患に対する外科治療を担当します

- 当院は奈良県西和地区では唯一の「呼吸器外科」標榜施設です。肺がんから気胸、感染症など、肺移植以外すべての外科治療に対応しています。
- 肺は「呼吸」を司る重要な臓器です。また肺切除手術には、心臓に直接つながる血管の処理など高い専門性が求められます。呼吸器専門病院で経験を積んだ常勤専門医3名で成るチームにより、安心して手術が受けられる体制づくりに努力しています。



腋の下に数cmの穴を3-4か所あけて胸腔鏡（カメラ）や鉗子を挿入しモニターを見て行います。創が小さく身体への負担が減ります。



肺尖部浸潤肺がん。化学放射線治療後に右上葉切除+胸壁合併切除術を行いました。

◆ 得意とする疾患 Specialty Disease

01 肺がん（原発性・転移性） 02 縦隔腫瘍

胸腔鏡（内視鏡）手術による肺葉切除術が標準ですが、早期がんや肺機能が悪い場合は、肺切除量を減らす工夫をします。進行肺がんでは院内がんセンターで、手術、薬物治療、放射線治療など最適な治療法を検討します。

胸腺腫瘍、悪性リンパ腫、がんのリンパ節転移など多様です。早期の腫瘍や胸腺摘出は胸腔鏡手術を行います。手術で組織診断をつけた後に他科と連携して治療します。まれな疾患が多く呼吸器外科が窓口になることが多いです。

03 気胸、膿胸など

若い男性に多い典型的な自然気胸は胸腔鏡手術で早期に退院できます。最近増加している喫煙歴の長い高齢の気胸や、膿胸など感染症では、手術適応の判断や薬物治療の併用など、高度な専門的判断が必要です。



プロフィール Profile

泉本 修一 教授

● 経歴

1990年 コロンビア大学 神経学教室 PDF
2006年 大阪大学 医学部 脳神経外科 講師

● 最終学歴

1983年 金沢大学 医学部卒

● 主な専門医・指導医

日本脳神経外科学会専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

脳神経疾患全般の外科治療・脳神経血管内治療

さまざまな脳腫瘍全般の外科治療・集学的治療を行います。脳動脈瘤や脳出血などの脳血管疾患の外科治療、さらに脳梗塞での急性期治療、血栓除去術や脳動脈瘤コイル塞栓術などの脳血管内治療を行います。頭部外傷の外科治療・保存的治療を行います。



ナビゲーション、エコー機を用いて顕微鏡下腫瘍摘出を行います。



マイプロテクターを着用した血管内治療チームです。



急性期治療に備え、夜半でも病院は機能しています。

得意とする疾患 Specialty Disease

01 脳腫瘍

良性腫瘍はもとより、悪性腫瘍で安全かつ最大限の腫瘍摘出、遺伝子診断に照らした化学・放射線治療、さらに電場療法(NOVO-TTF)が保険適応され、いずれも最善の治療を提供します。

02 脳血管障害

昨年1年間の脳卒中入院件数は脳梗塞で147件、脳出血で41件、くも膜下出血で14件ですが、発症前の内頸動脈狭窄や未破裂脳動脈瘤の予防的治療も最善の治療を行っています。

03 頭部外傷

頭部外傷は、転倒、交通外傷など、様々な機序で発生しますが、慢性・急性硬膜下血腫や硬膜外血腫などの外科治療に対応します。



プロフィール Profile

関山 健太郎 医学部講師

● 経歴

京都大学医学部附属病院 (2001年～2003年、2020年～2021年)
大阪赤十字病院 (2003年～2005年)
天理よろづ相談所病院 (2005年～2007年、2014年～2016年)
京都医療センター (2007年～2014年)
医学研究所北野病院 (2016年～2020年、2021年～2024年3月)

● 最終学歴

2001年 京都大学 医学部卒業

● 主な専門医・指導医

日本産科婦人科学会 産婦人科専門医・指導医、日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医・指導医・評議員、日本産婦人科内視鏡学会 技術認定医(腹腔鏡)・学会幹事、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

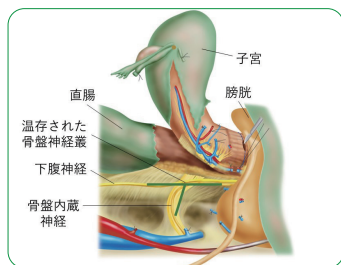
令和6年3月末をもって分娩機能を休止し、今後は婦人科腫瘍手術(良性・悪性)に注力してまいります。

特に腹腔鏡下手術については常勤として内視鏡技術認定医3名を擁し、

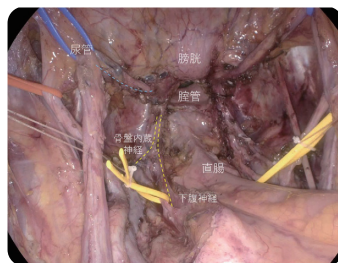
丁寧で安全性の高い手術を提供できる診療体制が整っております。

婦人科悪性腫瘍については、がん診療連携拠点病院として、婦人科腫瘍専門医、腫瘍内科医、

放射線治療医など多職種によるチーム医療を実践し、患者様およびご家族の支援に努めてまいります。



神経温存広汎子宮全摘術のイラスト
Precise neurovascular anatomy for radical hysterectomy.
Fujii S, Sekiyama K: Springer (2019)より



神経温存広汎子宮全摘術の実際
子宮および周囲の組織が切除され、必要な神経が選択的に温存されている。

得意とする疾患 Specialty Disease

01 子宮頸がん

神経温存広汎子宮全摘術について教科書を発刊し、海外における複数回のライブ手術の実績があります。腹腔鏡下広汎子宮全摘術についての臨床試験(JGOG1087)では手術判定委員会委員長を務めています。

02 子宮体がん

子宮体がんに対する腹腔鏡下手術を積極的に行っています。原則として婦人科腫瘍専門医・指導医に加えて、内視鏡技術認定医2名の体制で手術を行います。

03 卵巣・卵管がん

進行がんとして発見されることが多いため、初診から治療開始までの期間をできるだけ短くするように努めています。審査腹腔鏡、遺伝性乳がん卵巣がん症候群に対する腹腔鏡下予防的卵巣卵管摘出術も行います。



◆ プロフィール Profile

虫明 聡太郎 教授

● 経歴

1994年 大阪府立母子保健総合医療センター 診療主任
1996年 同研究所 主任研究員
2007年 大阪大学 小児科 准教授
2012年 近畿大学奈良病院 小児科 教授

● 最終学歴

1985年 大阪大学 医学部卒

● 主な専門医・指導医

医学博士、日本小児科学会専門医
日本小児栄養消化器肝臓学会認定医
日本小児肝臓研究会運営委員長、病理解剖資格

◆ 診療科の紹介 Introduction of clinical departments

成長・発育を守る子どもと家族のための総合診療科

小児科では、さまざまな病気を幅広く、そして新生児期から小児・思春期、さらに青年・成人期まで幅広い年齢を対象として診療しています。

子どもの栄養発育、内分泌、消化器、肝臓疾患を専門分野としていますが、成長期にある子どもたちの心と体の悩みに応えていくことを使命として、より専門性の高い医療を提供できるよう心がけています。



◆ 得意とする疾患 Specialty Disease

01 栄養発育・内分泌

乳幼児の発育不良、低身長、思春期発来の異常やその他の内分泌疾患(甲状腺疾患、副腎機能異常など)症の精査・治療を行います。

02 消化管疾患

炎症性腸疾患、機能的消化管疾患の診断治療(小児の内視鏡検査)、難治性下痢症に関する専門的診断と治療、および子どもの重症便秘症の治療を行っています。

03 肝・胆・脾疾患

子どもの肝機能異常、肝炎、乳児の黄疸をきたす疾患や代謝異常症、および脾疾患は希少ですがいずれも専門的な知識と経験が求められます。これらの病気に対する専門診療を行なっています。



プロフィール Profile

杉岡 孝二 教授

● 経歴

1997年 近畿大学病院 眼科
2004年 UCSF留学
2010年 近畿大学病院 眼科 講師
2018年 近畿大学奈良病院 眼科 准教授
2024年 近畿大学奈良病院 眼科 教授

● 最終学歴

2004年 近畿大学大学院 医学研究科修了(医学博士)

● 主な専門医・指導医

日本眼科学会専門医・指導医 日本結合組織学会評議員

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

網膜硝子体疾患と角膜疾患の診断と外科的治療を中心に取り組んでいます。

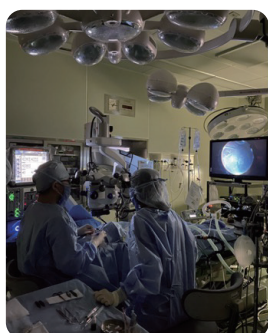
目は一生使う大切なものです。当科のモットーは、「最良の医療を近大奈良で!」です。

眼科疾患全般に幅広く対応可能です。眼外傷などの緊急手術を要する疾患にも対応可能です。

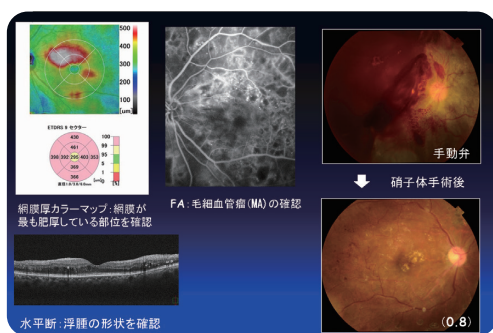
さまざまな疾患に対して外科的治療を駆使して治療に取り組み、視機能を全力で守ります。

特に専門としている疾患は網膜剥離、糖尿病網膜症、

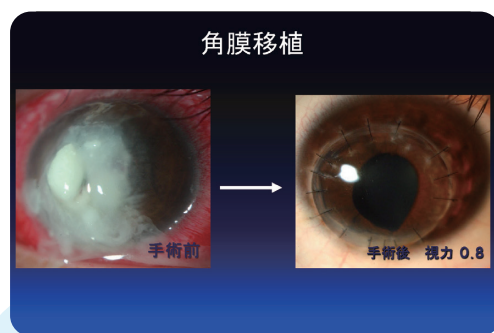
その他の増殖性網膜疾患、角膜混濁、水泡性角膜症、斜視などです。



手術室での網膜剥離に対する硝子体手術



糖尿病網膜症の診断と治療



角膜潰瘍に対する角膜移植

得意とする疾患 Specialty Disease

01 網膜硝子体手術

網膜硝子体疾患の診断と硝子体手術を得意にしております。網膜剥離や眼外傷など緊急手術を要する患者にも対応しております。

02 角膜移植

輸入角膜を使用し、全身麻酔で安全に角膜移植を行えます。角膜内皮移植(DSEAK)の成績も良好です。

03 斜視手術

斜視、弱視、小児、成人の斜視手術、弱視の視能訓練を行います。



◆ プロフィール Profile

大磯 直毅 教授

● 経歴

1994年 大阪市立大学 医学部卒業
2001年 コロラド大学 留学
2012年 近畿大学 医学部 皮膚科学 准教授

● 最終学歴

2001年 大阪市立大学大学院 修了(医学博士)

● 主な専門医・指導医

日本皮膚科学会皮膚科専門医、日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、難病指定医

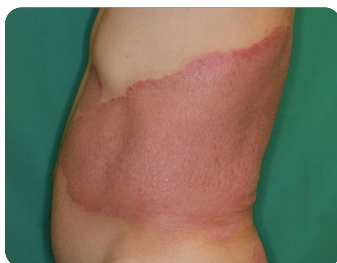
◆ 診療科の紹介 Introduction of clinical departments

地域医療への貢献、質の高い個別化医療に取り組んでいます

急性期皮膚疾患に対する入院治療、難治性の皮膚疾患に対する新規治療、皮膚腫瘍に対する病理組織学的診断、パッチテストによるアレルギー同定など専門性の高い分野を担当し、地域の患者様に貢献しています。皮膚科の専門性を生かして的確に診断し、患者様の悩みに寄り添い、希望に沿いながら患者様ごとに治療方針を選択しています。安全で安心できる治療を提供できるよう心がけています。



アトピー性皮膚炎はアレルギー性皮膚疾患です。



尋常性乾癬は炎症をともなう角化性皮膚疾患です。



尋常性白斑はメラノサイトが消失して生じる脱色素斑です。

◆ 得意とする疾患 Specialty Disease

01 アトピー性皮膚炎

悪化因子への対策、急性炎症と慢性炎症への治療、かゆみのコントロールが大切です。新規治療法が発展しています。難治であった患者様も寛解をめざせます。

02 尋常性乾癬

皮膚病変部への治療のみならず、併発疾患の精査とその治療も大切です。生物学的製剤や内服薬、外用剤などさまざまな新規治療が開発され、寛解をめざせます。

03 尋常性白斑

光線療法をはじめ、様々な治療法が試みられています。近年、新規治療法が開発され、症状の軽快や寛解の可能性が高まることが期待されています。



プロフィール Profile

平山 暁秀 教授

●経歴

2006年 奈良県立医科大学 泌尿器科 講師

2013年 奈良県立医科大学 泌尿器科 准教授

●最終学歴

1989年 奈良県立医科大学卒(医学博士)

●主な専門医・指導医

日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本透析医学会専門医、
日本癌治療認定機構がん治療認定医、日本排尿機能学会専門医、
日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

尿路に関する疾患に対しガイドラインを遵守し加療しています

腎がん、膀胱がん、前立腺がんを代表とした悪性疾患に対しては、薬物療法、放射線療法、手術療法を病気に応じ行っています。前立腺肥大症などの良性疾患に対しては、患者様と相談の上適応症例には、レーザーを含めた低侵襲手術を行っています。



CVP：レーザーを組織にコンタクトし前立腺を蒸散します。



UDS：膀胱の収縮力、下部尿路閉塞度等を調べます。



レーザー：上部尿路、下部尿路結石に対し用います。

得意とする疾患 Specialty Disease

01 尿路悪性腫瘍

ガイドラインに準じ、薬物療法、手術療法、放射線療法を行います。手術は内視鏡手術を含め低侵襲を心がけています。

02 排尿障害

行動療法、薬物療法を中心に行い、手術対象例には、膀胱水力学的検査を行い治療方針を決定しています。

03 尿路結石

主にレーザーを用いた、結石碎石術を行っています。



プロフィール Profile

家根 旦有 教授

● 経歴

1985年 八尾市立病院
1987年 榛原町立病院(現:宇陀市立病院)
1989年 奈良県立医科大学附属病院
2009年 近畿大学奈良病院

● 最終学歴

1983年 奈良県立医科大学 医学部卒

● 主な専門医・指導医

日本耳鼻咽喉科学会専門医・指導医、頭頸部がん専門医
・指導医、内分泌外科専門医・指導医、日本甲状腺学会専門医

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

当科は頭頸部がん専門施設、内分泌外科専門医認定施設です

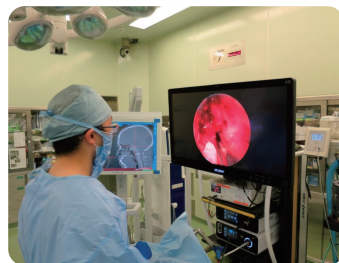
当科では頭頸部がん専門医が適切な治療方法を選択し提示しています。頭頸部がんの治療は手術だけではなく、放射線治療、化学療法を組み合わせた集学的治療が必要です。当院では頭頸部がんカンファレンスを隔週で開催し、耳鼻咽喉科、放射線科、腫瘍内科、歯科口腔外科が参加し、一例ずつカンファレンスで治療方針を決定し患者様にとって最適な治療方法を選択しています。



耳鼻科外来にはエコーを設置し、検査および細胞診が可能



耳鼻科外来にはファイバーを設置し、検査および生検が可能



最新式の内視鏡セット、ナビゲーションシステムで内視鏡手術

得意とする疾患 Specialty Disease

01 頭頸部腫瘍

当科では口腔がん、舌がん、上・中・下咽頭がん、喉頭がん、唾液腺がん(耳下腺、顎下腺)、鼻・副鼻腔がん(上顎洞)、甲状腺がんなど頭頸部のあらゆるがん腫に対応しています。

02 甲状腺・副甲状腺疾患

当科では甲状腺腫瘍のみならず、バセドウ病、橋本病、亜急性甲状腺炎など内科的疾患に対しても対応しています。また原発性副甲状腺亢進症など副甲状腺疾患にも対応しています。

03 鼻・副鼻腔疾患

当科ではアレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎など一般的な鼻・副鼻腔疾患に対応しております。また内視鏡手術は最新式の内視鏡セット、ナビゲーションシステムを用いています。



◆ プロフィール Profile

明石 浩幸 医学部講師

● 最終学歴

近畿大学医学研究科大学院卒

◆ 診療科の紹介 Introduction of clinical departments

リエゾン精神医学を中心に総合病院としての
精神科医療を提供いたします。

一般の精神科クリニックでは対応が困難な心不全や悪性腫瘍などの
身体合併症をお持ちの患者様への外来診療と、
身体合併症で入院中の患者様の精神的ケアを主に行っています。



◆ 得意とする疾患 Specialty Disease

01 リエゾン精神医学

緩和ケア医療をはじめ、身体疾患に伴って生じる様々な精神的問題に対して、
担当各科の医師や他の医療スタッフと
連携しながら支援を行います。

02 認知症の早期診断

頭部MRI検査やアイソトープ検査、各種
の心理検査を組み合わせ、認知症状を総
合的に評価し、早期診断を目指します。
また、認知症の周辺症状への治療を行
います(完全予約制)

03 気分障害の診断および治療

うつ状態の適切な鑑別診断を行うとと
もに、最新の知見に基づく薬物療法と
心理社会的アプローチを統合的に行い
ます(完全予約制)



プロフィール Profile

長田 哲次 准教授

● 経歴

2001年 上海第二医科大学第9人民院 口腔顎顔面外科
2002年 フライブルグ大学 顎顔面外科

● 最終学歴

1987年 九州大学歯学部卒

● 主な専門医・指導医

口腔外科学会指導医・専門医、口腔科学会認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医(歯科口腔外科)、歯科麻酔学会認定医、歯科医師臨床研修指導医

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

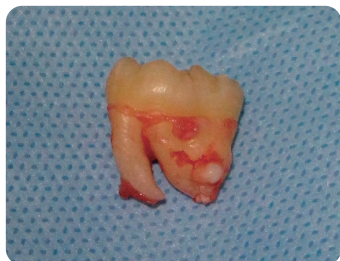
歯科口腔外科疾患全般

歯科口腔外科は、一般の歯科開業医では対応できない口腔の疾患を取り扱う分野で、当科では以下のような疾患に対応できる技術と設備を有し、診療を行っています。

親知らずの抜歯 リスクのある抜歯

口腔がん(舌がん、歯肉がん、口底がんなど) 前がん病変(白板症、紅板症)

口腔外傷(顎骨骨折、歯の脱臼や粘膜裂傷) 顎変形症(上下顎骨切り、おとがい形成)



智歯(癒合歯): 深部に存在する場合は全身麻酔下で施術します。



顎骨壊死: 歯肉に露出する腐骨排膿と疼痛、腐敗臭を伴う



舌がん: 右舌縁の硬結を伴う穿掘性潰瘍

得意とする疾患 Specialty Disease

01 智歯(親知らず) 抜歯

当科で最も多く行われている手術で、智歯が顎骨内に存在する場合は通常のパノラマに加えCBCTを撮影し、歯根の性状や下顎管との三次元的な位置関係を確認し抜歯します。

02 顎骨壊死

ビスフォスフォネート製剤関連顎骨壊死の症例は依然と多く存在します。腐骨分離を認めた場合は、積極的に摘出します。

03 口腔がん 前がん病変

高齢化の影響で口腔がんは増加しています。当科ではがんを疑う病変は積極的に生検を行い早期診断・早期治療に努めます。



プロフィール Profile

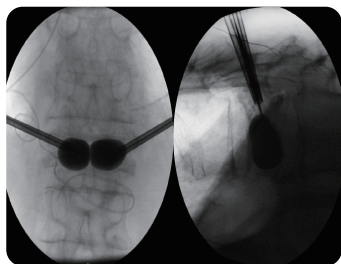
戸川 大輔 教授

- 経歴
1999～2005年
クリーブランドクリニック留学
- 最終学歴
2000年 横浜市立大学大学院医学研究科修了(医学博士)
- 主な専門医・指導医
日本脊椎脊髄病学会外科指導医・評議員
日本整形外科学会専門医・脊椎脊髄病医
日本最小侵襲脊椎治療学会 理事
日本脊椎インストラメンテーション学会 評議員

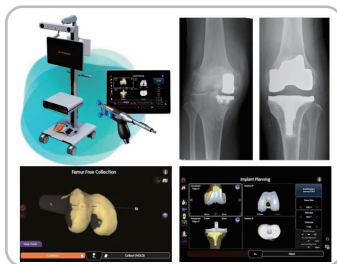
診療科の紹介 Introduction of clinical departments

脊椎外科・関節外科・転移性骨腫瘍の治療を中心とした専門性の高い診療

- 脊椎変性疾患、脊柱変形、転移性脊椎腫瘍、脊椎外傷など幅広い脊椎脊髄病診療を行っています。
- 特に経皮的椎体形成術(BKP: Balloon Kyphoplasty)に関しては、手術施行のタイミング、様々な病態(骨粗鬆症、転移性脊椎腫瘍(骨髄腫、がんなど)にも積極的に行っています。
- 人工膝関節手術支援ロボットを用いて、患者様固有の下肢アライメントを正確に再現し、良好な臨床成績を達成しています。



Balloon Kyphoplasty (BKP)



人工膝関節手術支援ロボット



脊柱変形に対する矯正手術

得意とする疾患 Specialty Disease

01 脊椎椎体骨折

MRIで確実に骨折を診断し、椎体形状、疼痛、日常生活動作を診ながら、適切なタイミングで低侵襲な治療を行います。

02 変形性膝関節症

関節鏡手術、骨切り術、人工関節手術全てに対応しており、患者様の個性に応じた最良の手術方法を選択して治療を行います。

03 変形性股関節症

機能性を考慮した3次元術前計画と術中Navigation支援を駆使し、正確な設置により脱臼しない長期に安定した人工股関節再建手術を行っています。

放射線科(腫瘍部門)

Radiation oncology

診療科
部門
ページ



プロフィール Profile

岡嶋 馨 教授

● 経歴

京大病院、北野病院、ミネソタ州立大学などを経て
1999年より近畿大学奈良病院放射線科

● 最終学歴

1985年 京都大学医学部卒

● 主な専門医・指導医

日本放射線腫瘍学会理事、日本医学放射線学会放射線治療
専門医・研修指導者、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、
核医学会専門医・PET核医学認定医、消化器内視鏡学会専門医、
乳がん学会乳腺認定医、マンモグラフィ読影認定医

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

紹介から治療開始まで最短 0 日!患者様に応じてきめ細やかに対応します

全身の悪性疾患に対するX線や電子線による放射線治療の他、RI内用療法も行っています。

昨今は放射線治療の進歩により施設を超えて適切な治療を提案する必要性が高まってきました。

当院で施行可能な一般的な放射線治療のほか、必要な場合は他施設への紹介を躊躇なく行い

最適な医療を提供できるよう施設間の連携を強固にしています。

また治療時刻など患者様の要望に可能な限り添えるよう対応しております。

直線加速器リニアック (varian社、CLINACiX、6/10MV)

世界で広く使われ、4000台以上が稼働してきた放射線治療
装置です。定位照射、IMRT、IGRT等の最新技術まで対応し
ています。当院では通算3000症例以上の実績があります。



得意とする疾患 Specialty Disease

01 集学的治療を 必要とするがん

頭頸部がん、肺がん、食道がん、婦人
科系がん、造血器系腫瘍などは放射線
治療だけでなく、手術、薬物療法と組
み合わせた、いわゆる集学的治療を必
要とします。内科や外科が充実する当
院の強みとするところ です。

02 緩和的放射線治療

骨転移や神経浸潤などによる疼痛や神
経症状改善、或いは予防的に行いま
す。緊急性の高い場合は紹介当日から
治療を開始する場合があります。

03 ラジオアイソトープ(RI) 内用療法

放射性医薬品で体内から放射線を当て
る治療です。

甲状腺がんは内服治療で、前立腺がん
骨転移や特殊な悪性リンパ腫に対して
は薬剤を注射します。



プロフィール Profile

足利 竜一郎 教授

● 経歴

1986年 近畿大学病院 放射線科 研修医
1988年 近畿大学病院 放射線科 助手
1997年 近畿大学病院 放射線科 病院講師
1999年 近畿大学病院 放射線科 医学部講師
2000年 近畿大学病院 放射線科 講師
2006年 近畿大学病院 放射線科 助教授
2015年 近畿大学奈良病院 放射線科(診断部門) 教授

● 最終学歴

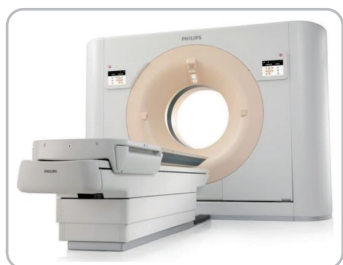
近畿大学医学部卒

● 主な専門医・指導医

日本医学放射線学会放射線診断専門医・研修指導者

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

各診療科より依頼された全身のあらゆる部位の
検査プランニング・読影・読影レポートの作成を行っています



2020年に導入されたiCTは、
広範囲の撮影や心臓のCT検
査に有効です。



2019年に導入されProdiva
はPETのような画像を撮影す
ることが可能です。



全てのCT、MRI、RI検査の
レポートを作成しています。



プロフィール Profile

二川 晃一 准教授

● 経歴

近畿大学卒業後、近畿大学病院や近畿大学医学部堺病院勤務を経て近畿大学奈良病院へ、2017年より麻酔科准教授

● 最終学歴

1999年 近畿大学大学院医学研究科修了(医学博士)

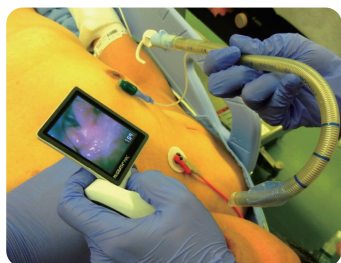
● 主な専門医・指導医

麻酔科学会認定医
日本DMAT隊員(統括)
災害医療コーディネーター

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

断らない麻酔科 ～どんな症例でも安全な術中管理を提供します～

当院手術室では年間3488例(2023年)の手術を行っています。そのうち全身麻酔では全症例を、局所麻酔(脊髄くも膜下麻酔、静脈麻酔など)でもほとんどの症例を麻酔科が管理しています。手術前から担当主治医や患者様からのリクエストを聞き、最適な麻酔方法を提供します。術者にとってはやりやすく、患者様にとっては快適で不安のない管理を心掛けています。集中治療室でも主治医の相談に応じる形で診療に携わっています。



全身麻酔の基本となる気道の確保
(気管挿管)



術後鎮痛のための超音波ガイド下
神経ブロック



安全第一!臨床研修
病院としての研修医指導

得意とする疾患 Specialty Disease

01 全身麻酔法

吸入麻酔薬、静脈麻酔薬、麻薬などを組み合わせ、それぞれの長所だけを利用することで短所をなるべく抑えるような管理を意識しています。局所麻酔法を併用することでさらに安全な管理ができています。

02 局所麻酔法

脊髄くも膜下麻酔はいわゆる下半身麻酔のことで、全身麻酔に不安があるような患者様などで選択します。当科では全身麻酔薬を併用することで、鎮静状態を保つような管理を行っています。

03 超音波装置の活用

超音波装置を使い、血管や神経を同定することが容易になった現在、血管内に安全にカテーテルを挿入したり、特定の神経を選択的にブロックできます。手術直後の持続的な鎮痛効果が期待できます。



プロフィール Profile

若狭 朋子 教授

● 経歴

1995年 大阪市立大学医学部附属病院 病理部 助手
2006年 和歌山県立医科大学 医学部第二病理学教室 講師
2008年 大阪赤十字病院 病理部 副部長
2011年 近畿大学奈良病院 臨床検査部 准教授

● 最終学歴

大阪大学医学部卒

● 主な専門医・指導医

日本専門医機構認定病理専門医、日本臨床検査医学会専門医、日本臨床細胞学会認定細胞診専門医、国際細胞診専門医(FIAC)

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

病気をミクロの視点で診断します

放射線画像や内視鏡は病気を目でみて診断します。

病理診断科は病気を顕微鏡を使ってミクロの視点で診断します。

具体的には手術や内視鏡検査で切り取られた皮膚、粘膜、組織の一部を加工して標本にし、顕微鏡で観察します。

がんと診断された場合においては、さらにがんゲノム解析や抗がん剤の適応を決める検査を行います。当院では開院以来の標本が保管されており、いつでも追加検査が可能な体制が整っています。



病理医1名臨床検査技師5名で力を合わせて診断しています。



診断はオンラインで各病棟、各外来に送信しています。



顕微鏡で観察できる標本にするには24時間かかります。

得意とする疾患 Specialty Disease

01 産婦人科疾患

02 肝胆道系疾患

03 血液疾患



プロフィール Profile

肥田 仁一 准教授

●経歴

1999年 近畿大学病院 外科 講師
2006年 近畿大学病院 外科 准教授

●最終学歴

1985年 近畿大学医学部卒

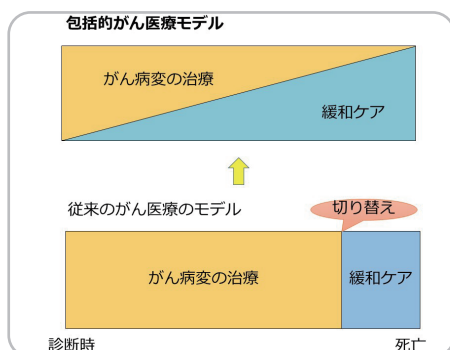
●主な専門医・指導医

日本外科学会・日本消化器外科学会・日本大腸肛門病学会
・日本消化器内視鏡学会

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

患者様と家族の Quality of Life (QOL : 生活の質) 改善

“緩和ケア”とは生命を脅かす疾患(最多は“がん”)に起因した諸問題(痛み、食欲不振、不安、不眠、社会復帰困難、経済的負担等)に直面する患者様と家族のQOL(生活の質)を改善することです。ケア提供に当たって1.良好なQOLの重視、2.全人的アプローチ、3.患者様と家族を包含するケア、4.患者様の自律と選択を尊重する態度、5.率直かつ思いやりのあるコミュニケーションの5つを心がけています。



がんと診断された時から、治療と緩和ケアが並行して提供されます。



緩和ケアチーム:多職種のスタッフが患者様と家族のQOLを改善。

得意とする疾患 Specialty Disease

01 がん疼痛

入院患者様の依頼数は年間100例以上で、緩和薬物療法認定薬剤師と共に、骨転移などの疼痛緩和に努めています。第1目標は夜間痛みがなく眠れる、次に安静時に痛みがない、そして最終的に動いても痛みがないことです。

02 がん治療に伴う副作用

乳がん看護認定看護師、がん病態栄養専門管理栄養士らと共に、薬物療法を中心に悪心・嘔吐、食欲不振、倦怠感の緩和に努めています。

03 うつ、不眠、せん妄

精神担当医師とともに、薬物療法でこれら症状の緩和に努めています。また社会復帰困難や経済的負担に対して、社会福祉士とともに相談支援を行っています。



プロフィール Profile

大矢 昌樹 准教授

●経歴

2009年 和歌山県立医科大学 腎臓内科・血液浄化センター 助教
2013年 和歌山県立医科大学 腎臓内科学講座 講師
2020年 和歌山県立医科大学 腎臓内科学講座 准教授
2024年 近畿大学奈良病院 腎臓内科 診療科長 准教授

●最終学歴

1998年 和歌山県立医科大学医学部卒業
2012年 医学博士(和歌山県立医科大学)

●主な専門医・指導医

日本内科学会 認定内科医 総合内科専門医
日本腎臓学会 腎臓専門医・指導医
日本透析医学会 透析専門医・指導医
日本腎代替療法医療専門職推進協会 腎代替療法専門指導士

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

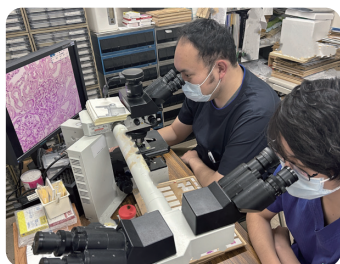
検尿異常から腎不全管理、透析管理まで腎臓病のすべてのステージを診療

腎臓病の多くは検尿異常から始まり、数年から数十年かけて進行するものがあります。

一方、急性腎障害などの急性血液浄化においては救急疾患を扱うものがあります。

当科では検尿異常の段階の腎臓病から保存期腎不全期、透析医療、急性血液浄化に至るまで

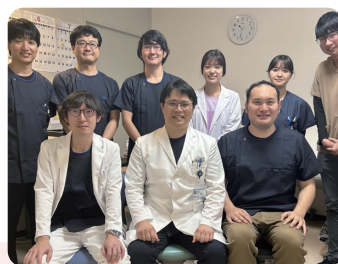
すべての段階における専門的な腎臓病診療を総合的に行います。



腎生検による腎病理診断



空間が広く、明るい雰囲気透析室



高いチームワークで診療しています

得意とする疾患 Specialty Disease

01 慢性糸球体腎炎ネフローゼ症候群 (IgA腎症を含む)

腎生検等による適正な診断のもと、完
解を目指した治療を行っていきます。

02 保存期腎不全管理

適切な薬物治療のほか、栄養指導、服薬
指導など多職種連携で透析にならない
ことを目指した診療を行っていきます。

03 心血管病予防骨ミネラル代謝異常管理

腎臓病の患者様がお元気に過ごしてい
けるよう心血管病や腎性骨症予防管理
を目指した診療を進めています。



プロフィール Profile

中尾 隆美 講師

●経歴

2001年 金沢医科大学卒

2001年 近畿大学病院 救命救急センター

2002年 近畿大学奈良病院 第三次救命救急センター

●最終学歴

2015年 近畿大学大学院医学研究科卒(医学博士)

●主な専門医・指導医

日本救急医学会専門医・指導医

日本旅行医学会認定医

大阪府医師会指定学校医

診療科の紹介 Introduction of clinical departments

西和医療圏唯一の三次救命救急センターとしての役割を担っています。

救命救急センターでは西和医療圏の外傷、急性中毒、ショックをはじめ重症救急患者の受け入れを行っています。様々な病態に対し専門科医師と連携をとりながら急性期患者の診断と治療ならびに全身管理を行っております。近隣の医療機関、消防、警察、保健所、行政機関との連携も大切にしながら、地域の救急患者を可能な限り受け入れていけるよう努めております。



初療室の様子



毎朝のスタッフミーティング



人工呼吸器・人工透析など集中治療を行っています

得意とする疾患 Specialty Disease

01 院外心肺停止

院外心肺停止(突然の心肺停止)患者様に対し、救急隊と連携し迅速な一次救命処置からの二次救命処置を行っています。心拍再開までの時間が社会復帰率に大きく関与します。

02 重症感染症(敗血症)

肺炎、尿路感染症、腹膜炎、やけどなどの感染症からの敗血症(炎症が全身に波及している状態)は全身状態の悪化、呼吸不全、肝不全、腎不全などを呈し生命にかかわる疾患です。

03 急性中毒

薬物の過量摂取だけでなく、家庭用品の中にも誤って飲んでしまうと中毒症状を呈することがあります。身の回り・自然界には中毒になりうる物がたくさんあります。